

来週の「売り物」記事はこれ



2014年9月26日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

ガザ緊急ルポ イスラエル軍の秘密指令

ハンニバル作戦の闇

28日（日）



中東・パレスチナ自治区、ガザ地区をめぐる戦争状態は8月末、イスラエルとイスラム原理主義組織・ハマスとの間でようやく停戦の合意が成立しました。50日間の戦いで、パレスチナ人2100人以上が死亡し、その多くは非戦闘員でした。とりわけ、8月初めにガザ南部ラファで展開されたイスラエル軍による攻撃では、陸海空の3軍協同の猛爆が繰り返



げられ、一帯が破壊しつくされました。たった2日間で200人近くの市民が殺害されたと見られています。実は、イスラエル軍はある秘密作戦を発動していました。それは「ハンニバル指令」と呼ばれる仮借のない攻撃命令でした。知られざる「秘密作戦」の全容に迫ります。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

210人もの殉職者が支えた突貫工事

50周年を迎えた東海道新幹線のもう一つの歴史を追う

夕刊2面特集ワイド 30日（火）



東海道新幹線は10月1日で開業から50周年を迎えます。世界初の高速鉄道を実現した技術者たちの物語は広く知られていますが、その建設現場で多数の殉職者が出たことはあまり知られていません。210人もの人たちが犠牲となり、「世紀の難工事」といわれた黒部ダムの殉職者数171人を大きく上回りました。東京五輪に間に合わせるための突貫工事を担ったのは、全国各地から集められた作業員たち。遺族らに思いをうかがい、新幹線建設を命がけで支えた人たちの歴史を描きます。

【東海道新幹線開業50年企画—「駆け抜けた半世紀」】

1964年に東京—新大阪間で開業した東海道新幹線が、10月1日に50周年を迎えます。高度経済成長のシンボルとして国民に親しまれた「夢の超特急」。その開業と発展に尽力した方々に思い出を語ってもらい、新幹線の歴史にまつわるエピソードを連載でお届けします。

「女の気持ちをたずねて」 おんなのしんぶん面29日（月）

おんなのしんぶん 

山口市の橋本博子さんは、脳出血で半身不随となった夫を自宅で介護して10年。夫のためにキャンピングカーを買って、日本中を旅してきました。今年1月に背骨を折ってからはそれもままならなくなりましたが、献身的な介護を続けています。その理由は……。



衣・レザーを着こなす

くらしナビ面 27 日 (土)



この秋、レザーが流行中です。ハードなイメージが強く、中高年にはレザーは似合わない、と敬遠するむきも多いのでは。でも、革に柔らかい素材を組み合わせれば中和でき、上品な印象にすることも可能です。ファッションアドバイザーに、ジャケットとスカートなど上手なコーディネートの仕方をききます。

認知症新時代第 4 部 「できること ある」

くらしナビ面 30 日 (火) から 4 回

1 月からスタートした認知症シリーズの第 4 部は、「働きたい」「生きがいがほしい」などの思いを実現するため、奮闘する認知症の当事者と支える人たちを追います。「認知症になると何もできなくなる」と思われがちですが、本人の「できること」に着目した取り組みが、就労や介護の現場で成果を上げつつあります。

